

来週の「売り物」記事はこれ



2012年1月20日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

シリーズインタビュー「時代を駆ける」

「国境なき医師団」日本会長、黒崎伸子さん

24日（火）から2週・10回



「時代を駆ける」は24日から、「国境なき医師団」日本会長の黒崎伸子さん（55）＝写真＝です。

「国境なき医師団（MSF）」は、宗教や政治、経済、どんな権力からも影響を受けずに、紛争地や災害被災地で医療支援にあたっています。昨年3月の東日本大震災では、震災発生翌日に被災地に入り、混乱のなか情報を集めて、孤立した避難所で支援にあたりました。

「あなたを待っている人たちがいます」。黒崎さんはMSFの派遣スタッフ募集のポスターを見て、医者になって20年の節目に大学を辞め、MSFの活動に参加します。スリランカやスマトラ島沖地震の津波被災直後のインドネシア、イラク戦争開戦直前のヨルダンなどに派遣されました。

ひとりの女性として、医師として——。黒崎さんの目を通し、「あの日」の世界を見てみましょう。

心でつながる親子 くらしナビA面 25日（水）から

東京都杉並区で昨夏、里親の女が女兒を死なせたとして逮捕された事件で注目された養子や里子。不妊治療でも子が授からなかった親と、望まれずに生まれた子どもとの出会い、育てられない実子を思う母親など、さまざまな親子の姿を計6回にわたって連載します。



睾丸チェックキャンペーン くらしナビA面 24日（火）



大人になった際の不妊の原因にもなる発達障害を見逃さないようにと、男子高校生など若い男性たちに成長のバロメーターとなる精巣（睾丸）の大きさを自分自身で確認させる取り組みが広がっています。熊本県の県立高校で実施されている活動などを取材しました。

旬のシジミを楽しむ くらしナビB面 24日（火）

松江、出雲両市にまたがる宍道湖は寒シジミの旬を迎えています。この時期のシジミは栄養価が高く実がしまって格別な味わい。早朝から始まるシジミ漁に記者が同行し、漁の様子をはじめ、シジミの効能、「シジミ汁」「シジミ鍋」など絶品シジミ料理を紹介します。



おじさんなんて呼ばせない

今どきキーワード6語 徹底解説

夕刊特集ワイド面 23日(月)



「えっ、それって何？」——。若者との会話で、知らない言葉に戸惑ったりしたことはありませんか。逆に、「今、こんなのが話題らしいね」なんて、ウンチクを披露できれば、きっと「スゴ〜イ！」と評価はうなぎ上りのハズ！ これだけ知っていれば、流行の先端に行く若者をギャフンいわせられる——。そんな6つのキーワードを選びました。「きゃりーぱみゅぱみゅ」「ちきりん」「ぼっち」……。分かりますか？ 「きゃりーぱみゅぱみゅ」のヒントは「和製ガガ」。詳しくは、どうか本紙をごらんください。

“知りたいが分かる、が”モットーの毎日新聞夕刊「特集ワイド」。どうぞご期待下さい。

第61期王将戦七番勝負第2局

26、27日

第61期王将戦七番勝負第2局が、26、27日、栃木県大田原市の「ホテル花月」で行われます。

第1局は、挑戦者の佐藤康光九段＝写真左＝が久保利明王将＝同右＝を降し、奪取にまず一步。久保王将は事前の研究をうかがわせる戦略で新たな趣向を見せましたが、佐藤九段は優れた読みと大胆な攻めで対抗し、激戦を制しました。

第2局も、互いの手の内を探りながら激しい将棋となりそうです。久保王将が防衛に向けて巻き返すか。お楽しみに。



センバツ出場校が決定 —— 27日に選考委員会



第83回大会 開会式リハーサル

全国に春の訪れを告げる第84回選抜高校野球大会（毎日新聞社、日本高校野球連盟主催）の選考委員会が27日、毎日新聞大阪本社オーバルホールで開かれます。同午後には出場32校が決まり、発表される予定です。今回は、光星学院（青森）の明治神宮大会優勝によって、東北地区の出場枠が一つ増えました。東日本大震災の被災地域に明るい話題が届きます。石巻工（宮城）、高崎（群馬）などが候補になっている21世紀枠3校の選考も注目されています。大会は3月21日から12日間、阪神甲子園球場で開催される予定です。

24日(火)朝刊が「ハリーポッター・魔法の新聞」になります。高原克行RT編集長が執筆した「記者の目」の記事中写真「運命の人」「被災地に立つ加藤登紀子さん」にスマートフォンをかざすと本木雅弘さんが動き出し、被災地の写真とともに加藤さん作の歌が流れます。写真が動画に変わるAR（拡張現実）という最新技術を日本で初めて採用した歴史に残る新聞です。ぜひ読者にお薦めください。（スマホをお持ちの方は専用アプリ「Aurasma Lite」（無料）をダウンロードして写真にかざしてみてください。動画が楽しめます）

